

考古学教室

銅釧（古代の腕輪）をつくろう！

日時 令和5年7月23日（日）13：30～15：30
場所 資料館工作室
参加費 500円（観覧料含む）
申込 7月16日（日）10：00から電話で申込み

埴輪・土器をつくろう！

日時 令和5年8月6日（日）13：30～16：00
場所 寺田コミュニティセンター美術工芸室
講師 志津川陶芸教室
参加費 600円（観覧料含む）
申込 7月30日（日）10：00から電話で申込み

和同開珎をつくろう！

日時 令和5年8月20日（日）13：30～15：30
場所 資料館工作室
参加費 200円（観覧料含む）
申込 8月13日（日）10：00から電話で申込み

考古学教室共通

定員 10名（先着順） 対象 小学生・中学生

勾玉教室

勾玉をつくろう！

日時 令和5年
①7月30日（日）
②9月10日（日）
13：30～15：30

場所 資料館工作室
対象 小学生・中学生
定員 10名（先着順）
参加費 200円（観覧料含む）
申込 ①7月23日（日）②9月3日（日）
10：00から電話で申込み

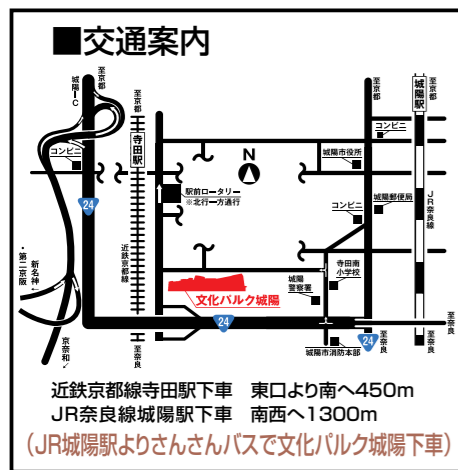


体験教室

組みひも体験

日時 令和5年9月3日（日）13：30～15：30
場所 資料館工作室
対象 小学生以上
定員 10名（先着順）
参加費 200円（観覧料含む）
申込 8月27日（日）10：00から電話で申込み

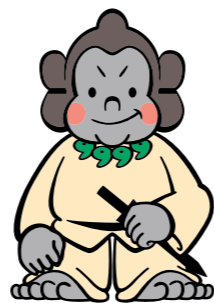
・イベント参加に際しては、発熱や風邪症状のある方はご遠慮ください。



■開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休館日 月曜日(祝休日の場合は開館)
祝休日の翌日(土・日曜日の場合は開館)
12月28日～1月4日
■観覧料 おとな 200円(140円)
小・中学生 100円(70円)
<団体料金>おとな 160円(110円)
小・中学生 80円(50円)
※団体は20名様以上
※()内はプラネタリウムとの共通観覧の場合の資料館観覧料



HPはこちら



資料館マスコット「ごりごりくん」

ごりごりくんは心優しい豪族ゴリラです。「五里五里の里」の「ごり」とその語感からゴリラをキャラクター化したものです。古墳・遺跡の多い城陽市の特徴から古墳時代を思わせる姿になっています。

★印は観覧無料!!!

夏季特別展
スタート!

夏季特別展
最終日

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
2	3	4	5	6	7	8	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
9	10	11	12	13	14	15	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
16	17	18	19	20	21	22	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30		
23	24	25	26	27	28	29														
30	31																			

五里ごり館
城陽市歴史民俗資料館(文化パルク城陽 西館4階)
〒610-0121 京都府城陽市寺田今堀1番地
TEL 0774-55-7611 FAX 0774-55-7612

JOYO 令和5年度夏季特別展

城陽を走った電車

令和5年
7月15日(土)～8月27日(日)
最終日8月27日(日)は観覧無料!
休館日 7月18・19・24・31日
8月 7・14・15・21日



文化財講演会

①第93回 7月29日(土)
テーマ「鉄道車両の一生」
講師 林基一氏(鉄道車両研究家)
場所 市民プラザ(文化パルク城陽地下1階)
②第94回 8月5日(土)
テーマ「奈良電もよやま話」
講師 島本由紀氏(鉄道友の会京都支部副支部長)
場所 寺田コミュニティセンター会議室(文化パルク城陽西館3階)
①②共通
時間 14：00～15：30(受付13：30～)
定員 各40人 ①は立ち見自由
費用 無料
申込 ①7月16日(日)・②7月22日(土)
各日10：00から電話申込

鉄道模型(Nゲージ)走行実演

日時 7月23日(日)・8月27日(日)
1回目 13：30～14：15
2回目 15：00～15：45
場所 特別展示室
費用 無料(観覧料必要) ※事前申込不要

自分のNゲージ車両を走らせよう!

展示室のレイアウトで自分のNゲージ車両を走行できます。
日時 8月1日(日)～26日(土) 10：30～16：00
場所 特別展示室
費用 無料(観覧料必要)
申込 7月25日(日) 10：00から電話申込
※上記期間中、1組につき1時間(Nゲージ車両持参)
※休館日、イベント実施日は除く。詳しくはお問い合わせください。

資料館HPはこちら



奈良電気鉄道～近鉄京都線の歴史と歴代車両

Nゲージ鉄道模型走行展示

現在城陽市西部を走る近畿日本鉄道(近鉄)京都線の前身は、昭和3年(1928年)に京都-西大寺間が開通した奈良電気鉄道(奈良電)です。当時大阪電気軌道(大軌)と京阪電気鉄道が大株主となって発足した奈良電は、開通当初から大軌の路線に乗り入れて京都と奈良を結んでいましたが、昭和38年(1963年)10月1日に近鉄と合併し、近鉄京都線となりました。今年はそれから60周年という節目の年を迎えます。

創業当時のポスター



① ポスター「奈良電鉄開通」
昭和3年(1928年)



② 「奈良電車沿線案内」・「奈良電車沿線案内」



③ 車両のテクニカルノート

近鉄京都線の歴代車両



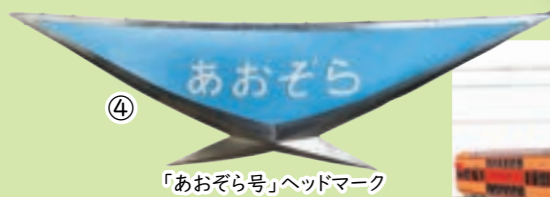
近鉄3000系電車 林基一氏撮影
近鉄グループホールディングス提供



ブルーリボン賞受賞車両
近鉄グループホールディングス提供

昭和37年(1962年)に登場した「あおぞら号」は、近鉄沿線の小学校の修学旅行に特化した団体専用列車です。憧れの2階建てビスタカーに乗る体験は、当時の小学生にとって忘れられない思い出となりました。展示では「あおぞら号」のヘッドマークや内部写真などを紹介します。

憧れの特急「あおぞら号」の思い出



④ 「あおぞら号」ヘッドマーク



⑥ パンフレット「近鉄修学旅行列車 あおぞら誕生」
昭和37年(1962年)

⑤ 「あおぞら号」エンブレム

「奈良電気鉄道～近鉄京都線の歴史と歴代車両」の①～⑥は、近鉄グループホールディングス提供



Nゲージ鉄道模型とレイアウト 橋本彰一氏所蔵

特別展示室中央にNゲージ鉄道模型のレイアウトを展示します。近鉄京都線とJR奈良線の歴代の車両を展示します。



Nゲージ鉄道模型とレイアウト 橋本彰一氏所蔵

国鉄奈良線～JR奈良線の歴史と歴代車両

明治29年(1896年)に桃山-玉水間が開通し、城陽市域では長池駅が設置された奈良鉄道(現在のJR奈良線)は、当初蒸気機関車が運転されていました。関西鉄道との合併や鉄道国有化を経て、国鉄奈良線となって昭和29年(1954年)にはディーゼル化、昭和33年(1958年)に城陽駅の設置を実現し、昭和59年(1984年)には電化開業を果たし、来年は電化開業40年を迎えます。さらに山城青谷駅の橋上化が令和4年(2022年)7月に、第二期複線化工事が今年の3月に完成しています。

JR山城青谷駅の変遷



山城青谷駅 昭和57年(1982年)
田部富男氏撮影



JR205系電車 小管一己氏撮影

国鉄奈良線電化開業



奈良線電化記念号 昭和59年(1984年)10月1日
香川正徳氏撮影

JR奈良線の歴代車両



JR103系電車 小管一己氏撮影



JR221系電車 小管一己氏撮影



久津川車塚古墳横の複線化工事了地点
令和5年(2023年)6月 城陽市都市政策課撮影